

## 新しい悦びの時代へ向けて

NPO法人

くだけかけ会代表

和田重良

1948年小田原市生まれ  
くだけかけ生活舎での共同生活（人  
生科や農作業）をおして、青少  
年や家庭の生活にさまざまなメッ  
セージを送っている。



人生においても、教育を考えるためにも、一人一人にとって「今をどう生きるか」が大切なことであることは言うまでもありません。  
過去を悔んで、また未来を憂いてばかりでは新しい時代を生み出せません。  
今日からイキイキと生きましよう。何歳からでも…。

## 才一回 学び、成長し、大きくなる

### 楽しく学ぼう

「くだけかけ」は今年出発以来36年目に入ります。

「家庭教育を見直そう」と言う呼びかけにはじまって、「同行教育」や「人生科」という「しあわせ」に直結する提言を根気よくしてきました。素晴らしい

です。

その源は、出発の時からずっとお母さんたちの手作り編集で成り立っているものです。だからきっと、その辺にはないパワーが伝わっていくのだと思います。もう一つは「楽しく学ぶ」というものです。

人間の特性は何より「学ぶ」ということはなんと楽しいことか」と気付くことができるということです。どんな進歩成長も「学ぶ」ことからできています。「学ぶ」ことは一生の宝物でこんなにうれしいこととはありません。

実はほくは大人になるまで「学び」が楽しいという事を知らずに過ごしてしまいました。その原因は「教育」にあったのです。

中でも点数評価の受験教育は「学び」を著しく歪めていたと思われまます。…こんなことは世間一般にずっと言われ続けていますが必要悪だとされて一向に改善されて来ませんでした。

「くだけかけ」では大人であるほくらから、楽しく学ぶことを体験しようと言っているのです。

もう一つ、学びが楽しくならない原因があります。それは「受け身」の姿勢で勉強をさせられてきたからです。

### 気持ちよく成長しよう

自然界のものは皆例外なく「よくなるう」としています。

人間も例外ではないのです。

ところが、放っておいたらとんでもない人間が

きてしまうと恐れて、子どもの「自分でよくなる力」までつぶしてしまいます。これではしあわせを願うはずの「教育」が本末転倒になります。

「学ぶ」ことで人間は成長して行くのですから、生まれたての赤ちゃんは何の教科書もなしにどんどん人間らしく成長していきます。

体は栄養を摂って成長していきます。頭も周囲から「学んで」どんどん成長していきます。お父さんやお母さんはその補助をして行けばいいのです。

「心」はどうでしょう…。不安ばかりのお父さんお母さんに育てられた子はどんな気持ちになるでしょうか。

不平不満ばかりの家庭で育った子はどんな気持ちになるのでしょうか。

否定語をあげせられ続け暴力を受けて育てられた子は気持ちよく成長できるでしょうか。

大切に、かわいがってもらって可能性を信じて育ててもらった子はどうか。

「くだけかけ」の力ですべての人のこころが気持ちよく成長できればいいのですが、そう簡単にはいきません。

っているということを自覚していないことがあるのです。否定語ばかり使っているような人でもまったく無意識でしていることがあります。

「くだけかけ」では、気持ちよく成長することそれぞれが自分の持ち味を十分に発揮できたらしあわせだと願っているのです。だからこそ「愛言葉」(よかつたね、よく来たね)を提唱しています。肯定し、受容されればどんな人もありがたいのです。

体や頭は大きくなっても心の成長はなかなか難しい問題を含んでいます。(18ページを併せて読んで下さい)

自分を破滅的にしてしまう人や、明るい努力がでなくなってしまう人は、どうも「小さい自分」の中に閉じ込められていてモガイているように思えます。

ほくもそうなのです。何か苦しく悩んでいる時は気がつけば「とても小さな自分」に入り込んでいます。

フツと息を吐いて、大きい自分

分になればこんなうれしいことはありません。「くだけかけ」の願いは、家庭の生活を基本にして「よい生活」をすることがあります。

「よい生活」の上には必ず楽しい学びと気持ちのよい成長があります。

生活や人生には悩みはつきものです。全部がハッピーではなくても、方向として「よろこんで大きくなろう」と心掛けていればいつか何かが見えて来ます。

方向さえ見つかれば「人間のしあわせ」に一歩ずつ近づいて行けます。

どこかにしあわせがコロガツているわけではありません。自分の心の中にヒントがたくさんあります。楽しく学んで、気持ちよく成長してよろこんで大きくなろう。…そんな気持ちで今年度のこのページを書いていきます。お楽しみに。

